

欧州馬術レポート

週刊 Gallop 2019年4月号掲載

馬耳蘭風 —オランダ奮闘記—

佐々紫苑

Shion Sassa



言葉を話すことができない馬たちの健康を常にベストの状態に保つには、日頃からの健康管理が必要です。毎日騎乗前後に馬体をチェックするのは当たり前ですが、ヨーロッパの国々では人間並みの様々な健康チェックや治療が開発されています。例えば、マッサージ機器、キネシオテーピング、針灸に整体などさまざまな分野に馬専門のプロフェッショナルな人や物が多く存在します。

中でも今回紹介するのは「馬の歯」のメンテナンス。馬は下顎を左右に動かし、食べ物をすりつぶして咀嚼しますが、その噛み癖によって歯の長さが不均等になってしまい、ゆがみが生じたり、伸びた歯によって痛みを感じ、それがハミ受けに影響してしまふことがあります。そこで登場するのが、馬の歯医者さん。定期的にチェックし、伸びすぎた歯を大きなやすりのようなものでゴリゴリと削る様子を初めて見たときは衝撃的でした。

ちなみに、馬も人間と同じように乳歯から永久歯への生え替わりの時期があります。運よく若馬の口からぼろっと抜け落ちた乳歯をゲットした小学生の頃、「上の歯なら縁の下へ、下の歯なら屋根に投げるといい歯が生えてくる」という迷信が馬にも適用するのもか疑うこともなく、思いっきり屋根の上にほうり投げた私。「記念にとっておけばよかった」と、あとになって後悔したことを今でもよく覚えています。



はい、Quandoさん大きくお口開けて～(本人提供)

Let's enjoy Dressage

高田茉莉亜

Maria Takada



先日、ドイツのドルトムントへ競技会観戦に行ってきました！隣のスタジアムではサッカー・ブンデスリーガの試合が行われていましたが、私は迷わず馬術の競技会が行われているスタジアムに向かいました(笑)。チケットを係の方に渡しゲートをくぐると、たくさんの屋台や、新作の馬具・乗馬ウエアを売っているショップが連なっています。



メインアリーナの真横の席での観戦は迫力満点！選手の細かいテクニックまで見ることができました。トレーニングや競技会に出る際にトライしてみたいと思います

この日、私が観戦したのは馬場馬術の自由演技課目(音楽に合わせて演技をするもの)で、各国のトップライダーが集まっていました。地元ドイツの選手が入場してくると、会場は大盛り上がり。QueenのBohemian Rhapsodyを使って演技している選手もいて、思わずメロディーを口ずさんでしまいました。



優勝したIsabell Werth選手とDon Johnson FRH号の「伸長速歩」。速歩という拍子のリズムの走り方で、歩幅を伸ばしています(写真は全て本人提供)



明松寺馬事公苑所属

◆佐々紫苑

(さっさ・しおん)

1995年東京都生まれ。早稲田大学卒。2012年全国日本ジュニアライダー総合馬術選手権優勝。15、16年全国日本ヤングライダー総合馬術選手権連覇。大学では4年連続で学業優秀賞を受賞。17年より日本馬術連盟アンバサダーライダー。



アイリッシュアラン乗馬学校所属

◆高田茉莉亜

(たかだ・まりあ)

1994年東京都生まれ。慶應義塾大学卒。2010、11年に全日本ジュニアライダー馬場馬術選手権連覇。16年の全日本ヤングライダー馬場馬術選手権で史上初の4連覇を達成した。17年より日本馬術連盟アンバサダーライダー。